

我孫子市消防審議会会議録

- 1 会議の名称 我孫子市消防審議会（令和3年度第2回）
- 2 開催日時 令和3年5月31日（月）19時00分～19時40分
- 3 開催場所 消防本部2階 大会議室
- 4 出席者等の氏名
 - (1) 審議会委員
羽石 清二、木村 悦子、岩部 弘治、飯山 初美、鈴木 誠、海老原 勤
齋藤 美重子
 - (2) 事務局
深山和義（消防長）、石井雅也（次長兼総務課長）、逆井和男（次長兼西消防署長）、
伊藤和行（警防課長）、国本浩二（総務課主幹）、井下田佳弘（警防課長補佐）、
勝矢秀樹（総務課長補佐）、椿浩一（総務課担当）
- 5 議 題
答申（案）について
 - (1) 救助隊（12名分）、救急隊（10名分）の増隊を実施するため、早期に条例改正を行うこと。
 - (2) 救助隊の充実強化のため、令和8年度中の運用開始を目途に救助隊の増隊を図ること。
 - (3) 救助隊の運用開始にあたり、運用に支障のないよう12名の消防職員の増員を行うとともに、救助資機材積載型の水槽付消防ポンプ自動車の整備を図ること。
 - (4) 救急隊の充実強化のため、救急出場件数7,500件を目途に救急隊の増隊を図ること。
 - (5) 救急隊の運用開始にあたり、運用に支障のないよう10名の消防職員の増員を行うとともに、高規格救急自動車の整備を図ること。
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人及び発言者の数 0名
- 8 会議の内容

(1) 会議次第

ア 開 会

事務局（総務課主幹）により開会宣言「令和3年度、第2回我孫子市消防審議会を開会いたします。」が行われ、順次次第に沿い進められた。

イ 傍聴要領

傍聴者がいないため、説明省略

ウ 会長挨拶

エ 議事

審議会条例第6条第2項により、会長が議長となり議事が開始される。

オ 閉会

(2) 議事の内容

○議長（羽石会長）

会議次第3、議事の「答申（案）」について、事務局の説明を求めます。

なお、説明を受けたのち各委員の発言を許します。質問のある委員は挙手をお願いします。

○勝矢秀樹（総務課長補佐）

「答申（案）」について、パワーポイントのスクリーン映写に基づき説明を実施。

○議長（羽石会長）

「答申（案）」についての説明が終了しました。説明について質問等ありますか。

○飯山委員

この答申の時期が早くなった理由はございますか。やっぱり必要性が高まったからなのかなということも考えられますけれども、議会の承認等もございますので、予定していたよりも早く議会にかけるのかなと思い、お聞かせいただければと思います。

○勝矢秀樹（総務課長補佐）

飯山委員がおっしゃるとおり当初の計画よりも、少し前倒して実施の方向ということで、進めております。今回、消防本部でクラスターの発生もありまして、その協議の中でもある程度職員のリスクを考慮した中で、職員の確保等を図っていく必要があるのではないかという検討もなされました。そのような中で救助隊の増隊分、救急隊の増隊分を含めた中で、ある程度早めに目安をつけたほうがいいのではないかと。令和4年度の4月1日から採用事務を行っていくためには、当初の予定である令和4年3月議会ですとなかなか間に合わないという実情がございます。その関係で9月議会において議案できるような形で準備を進めようというような話になりまして、このような動きを取っております。

○飯山委員

答申内容（1）に早期に条例改正を行うと記載がありますが、早期というのはいつ

を想定して現段階ではどのように考えておりますでしょうか。

○石井雅也（次長兼総務課長）

9月の議会に上程をする予定でございます。

○議長（羽石会長）

その他、委員の皆さんございますか。

それでは文言の説明に対する質問は無しということで、よろしいでしょうか。

○各委員 「なし」との声、うなずきあり。

○議長（羽石会長）

無いようであれば、答申の内容にあたっての確認作業をこれから入っていきたいと思います。答申の内容について、5項目あがっておりますがご意見はありますでしょうか。ご意見、或いは、文言の問題、その辺のあたり、いかがでしょうか。ここが答申の核になりますので、何かあればお伺いしたいと思いますがよろしいですかね。

○各委員 「なし」との声、うなずきあり。

○議長（羽石会長）

この内容でよろしければ、委員の総意という形で進めさせていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○各委員 「はい」との声、うなずきあり。

○議長（羽石会長）

事務局から何かありますでしょうか。

○石井雅也（次長兼総務課長）

事務局から修正をさせていただきたい箇所がございます。諮問における審議結果について答申の案をご覧ください。2番の答申にあたっての3行目となります。

新興感染症という文言についてですが、第3回審議会において、岩部委員より提言していただきました新興感染症という文言ですけれども、医療関係者及び消防職員は、言葉は理解できますが、市民の方々にわかりやすい言葉として、新たな感染症という文言にしてはどうかということで事務局で案を作りましたので、それでよろしいでしょうか。

○岩部委員

はい。それでよろしいかと思えます。

○石井雅也（次長兼総務課長）

そういう形で文言を訂正させていただきたいと思えます。

○議長（羽石会長）

その他、何か委員の皆さんございませんでしょうか。

○各委員 「なし」との声、うなずきあり。

○議長（羽石会長）

委員の一致でこの答申で、決定という形にさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。特に意見がないので、こういった形で答申内容の確認を終了という形にしたいと思います。

それでは以上をもちまして諮問に対する審議結果である、答申内容を確定したいと思います。

○議長（羽石会長）

閉会にあたり挨拶

○深山和義（消防長）

閉会にあたり挨拶

○石井雅也（次長兼総務課長）

答申書の提出について、6月28日月曜日に会長から市長に提出させていただくこととなっておりますので、この場を借りてご報告させていただきます。会長と副会長の出席をよろしくお願いいたします。また、答申についても9月議会に上程しまして可決後、委員の皆様にご報告をさせていただきます。

○議長（羽石会長）

それでは、以上をもちまして審議を終了いたします。ご協力ありがとうございました。